

# 食品新聞

発行所 食品新聞社  
http://www.shokuhin.net/  
大阪府北区南森町2-3-30  
電話 06(6361)4972  
東京 都営区大塚1-1-1  
電話 03(3552)3756-4031  
名古屋市中区丸の内2-10-11  
電話 052(221)5391  
食品新聞社 2018  
THE JAPAN FOOD NEWS  
創刊 1954年

## 豆腐 協会が手引書案作成

### 中小のHACCP導入支援

豆腐の業界団体である日本豆腐協会は現在、「HACCP導入の手引書(B基準)」の作成を進めている。昨年12月26日開催の第3回食品衛生管理に関する技術検討会において指摘された事項修正し、厚生労働省に修正案を提出。現在、厚労省で審査中である。

今年度は厚労省による、広域的な食中毒発生事例の調査、HACCP制度の普及への対策強化、健康食品情報提供の創設、輸入食品の安全性確保、食品輸出関係事務の取集、国際的な食用品用具・容器包装の衛生規格の整備、営業許可衛生審査を審査され、HACCPの制度化、制度の見直しと営業届出食品衛生法改正という形

## ユニーとドンキ Wネーム店の展開スタート

### ドンキ主導で6店舗改装



ユニーとドンキのダブルネーム店舗展開がスタートした。ユニーとドンキの両社が、大阪府大阪市東淀川区のユニー店舗を改装し、Wネーム店として営業を開始した。改装はドンキ主導で行われ、ユニー店舗のイメージを継承しつつ、ドンキの強みを生かした商品展開が期待されている。

## 移動スーパーと生協個配 意外な相互補完関係

スーパーの移動販売と生協の個配は、一見すると競合関係に見えるが、実は相互補完関係にある。移動スーパーは生協の個配が難しい地域や高齢者層にサービスを提供し、生協は移動スーパーの強みを活かして、地域の高齢者にサービスを提供している。



移動販売事業を語る高橋氏(左)と伊藤氏(右)。移動販売は高齢者や障がい者へのサービス提供に重要な役割を果たしている。両社は協力を深め、地域の高齢者にサービスを提供している。

## 生鮮3品の対応力強化

### 市場から業務用卸へ 変わる流通構造

業務用卸の流通構造が変化している。従来の卸業者から、生産者や加工業者が直接業務用卸に供給するケースが増えている。これは、流通コストの削減と品質の向上を目的としている。

業務用卸の流通構造が変化している。従来の卸業者から、生産者や加工業者が直接業務用卸に供給するケースが増えている。これは、流通コストの削減と品質の向上を目的としている。



業務用卸の流通構造が変化している。従来の卸業者から、生産者や加工業者が直接業務用卸に供給するケースが増えている。これは、流通コストの削減と品質の向上を目的としている。

## 久世 東京中央食品と資本提携

### 両社チャネルを相互活用

久世と東京中央食品が資本提携を結んだ。両社はチャネルを相互活用し、業務の効率化を図る。久世は加工食品の強みを活かして、東京中央食品の流通網を活用する。

## 逆光線

逆光線という現象が、食品業界にも影響を与えている。消費者の購買行動が変化し、従来の流通構造に挑戦している。これは、消費者のニーズの変化と関係している。

# 新発売

毎日のヨーグルトの甘味に 善玉菌であるビフィズス菌、乳酸菌は、**オリゴ糖が大好き!!** 片手で簡単 ディスペンパック

## 北海道産のてんさい糖から生まれた

# ヨーグルトに ヨーグル糖

オリゴ糖(ケストース)含有シロップ

BIHOEN

60g(15g×4個)

www.sakura-honey.co.jp

加藤美蜂園本舗